



GNOSIS CVD

パフォーマンスデザイン

CALLセンター 東日本コールセンター TEL.046-680-7850 西日本コールセンター TEL.06-6746-2859 中国本コールセンター TEL.052-777-4515 <https://www.work-wheels.co.jp>
NEWING (ニューイング) TEL.0798-631777 <https://newing.nco.com>
PHOTO>>AKIO HIRANO (平野 晃) TEXT>>S&S4 (編集部)

フロントバンパーの形状にこだわり合わせた形状。グリル下はカーブラインで、開口部を設定されているのが特徴。しかも直線部がなかったり、設定も併せ持つ。設計自体もあまりにも面白い。ストリートデザイン。これもデザインとして、純正では、別。リアは大きなエアロパーツ。最も美しいといえるため、バンパーサイドにフラッグ的な設定のアイテムとしている。後、リア高りのプロポーションは最も美しいと評価されている。このエアロパーツも最も美しいというバンパーサイドにフラッグ的なデザインを設定するセンスのよさは、ニューイングからも評価されている。



変則的ディッシュの超個性派



車体内部から見て、しっかりと見えるディッシュスタイルとされていることがよく分かる。20と21の大径サイズにこだわったことに基づいて実現したものだ。デザインは高級ディッシュだが、この価格帯によって70万円未満、オリジナルの美しいデザインといえる。

GNOSIS CVD SIZE & PRICE

SIZE	HOLE P.C.D.	RIM	PRICE (税別)
20	54.00.5-112	8.0-12 RJ	8万6000-12万円
21	51143.5-120	8.5-11 RJ	10万3000-14万円

●付属品: ホンダキー、エアロパーツ、マウントブラケット、マウントバー、ブラケット、コンポジットワッシャー、ボルト、ナット、ワッシャー、100個の在庫標準設定されています。



コンポジットハブブラッシュド

マットブラックブラッシュアルミリム

ブランチ

マットシルバー

SPECIFICATIONS Audi A7 SPORTBACK 2018

WHEELS: WDR30-GNOSIS CVD (FR22x10.0J)
Front Composite Bull Brushed(right) / Brushed(left)
TIRE: YOKOHAMA ADVAN Sport, FR255/35R21
SUSPENSION: KYO+Coilover kit
EXTERIOR: NEWING+Alpini Front Lip Spoiler / Side Diffuser/Rear Spoiler

コンケーブスタイルのディッシュデザインにひねりを加えた唯一無二の存在!

ワークのグノシスシリーズは、アメリカン製造ホイールのデザインやフィニッシュなどのディッシュを、国産の製造方法でコストパフォーマンス高く提供することをコンセプトとしている。当時はアメリカ産にしかなかったディッシュデザインをいちはやくライオンアップに加えるなど、国産ホイールのなかで突出した存在といえる。もちろん、この新作も見た目のインパクトは抜群! コンケーブ形状とディッシュ面を大きく見せるために、フルリバーズの20と21インチの大径の設定のみとしていること。そしてディッシュと回転方向指定のディッシュデザインとは異なる、新たなひねり系を調和させ、今までに見たことのないデザインとなっている。基本はディッシュだが、開口部を縦型としていることから、大

きなら本スポーク形状に見るなど、あくまでも新斬な設定なのだ。もちろん開口部に設定されているピストルはタミヤだが、細部までこだわったデザインとしており、それらをしっかりと融合させて、圧倒的な存在感を実現しているのだ。カラー設定も個性的で、黒磨版のあるブラッシュドに、ディッシュ面をブラッシュド加工し、側面にバフ加工をした2トーンのコンポジットハブブラッシュド。そして強烈な主張をするハードなマットブラック、落ち着きのあるマットシルバーの4色が用意されている。現代の人気ホイールフィニッシュをしっかりとカバーしているのだ。この最新ホイールを履きこなすのは、美しいクレーターのプロポーションが人気のアウディA7スポーツバック。

ホイールはニューイングが新開発したもので、美しいデザインを前ずことなくスポーティさをしっかりと訴求するアイテムだ。フロント、サイド、リアバンパーサイドにセットされたエアロは、控え目ながらも鋭意訓練と見た目の美しさを併せ持つ純正感が新しい。これまでにニューイングが展開してきた、クルマのキャラクターをオリジナルなものとするエアロパーツとは一線を画すのだ。ベース車が新しいだけに、アフターパーツはまだ少ないが、このクルマの佇まいを見ればニューイングのホイールとグノシスCVDのコンビネーションが優れており、これぞ注目すべきパーツといえることが分かる。スポーティであり、色気もあってユーロな魅せるポイントがしっかりと訴求されているのだ。



美しいプロポーションのA7スポーツバックの設定は圧倒的な存在感と主張性を見せるグノシスCVD。小径から大径、スポーティな印象を身に付けたニューイングのアンダーエアロの存在も秀逸だ。